



一人一人が安心して自分のよさを発揮できる学校

武蔵野小だより

令和2年4月8日発行

昨年度末からの新型コロナウイルスへの対応では、保護者、地域の皆様には大変なご心配をおかけしております。また、今年度に入ってから、教育活動を思うように進めることができず、校長として大変心苦しく、また申し訳なく思っております。今は世界中が厳しい状態にある中ですが、必ずやこれを乗り越え、学校が正常化された際には、子どもたちが蓄えたエネルギーを存分に発揮できるよう努めてまいります。

この度、歴史と伝統のある川越市立武蔵野小学校の校長として着任いたしました竹内一博でございます。本校に着任させていただけた喜びとよき伝統の継承を担う責務を実感し、身の引き締まる思いがしております。

本校で大切にされてきた学校教育目標「なかよく
かしこくたくましく」の具現化に向け、目指す学校像を「一人一人が安心して自分のよさを発揮できる学校～地域と共に着実に歩むふるさと武蔵野小学校～」といたしました。今後、教職員一丸となり、「ほめて伸ばす教育」を進め、楽しい学び舎づくりに励んでまいります。



ご入学、ご進級 おめでとうございます

臨時休業の中ではありますが、本日は、一人一人が新しい年度を迎えました。お子様のご入学、ご進級、誠におめでとうございます。

本年度は、115名の1年生を迎え、総勢649名の子どもたちと42名の教職員での出発となりました。しかしながら、今年度はこれまでに誰も経験したことのない長い休業期間後であり、先を見通しにくい状況となっています。学校再開の際には、子どもたちの気持ちをしっかりと受け止めることから始めたいと考えています。そして、保護者や地域の皆様との連携を深めながら、本校の伝統の継承と新たな創造に尽力してまいります。ご支援、ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

武蔵野小学校のすごさにびっくり

4月1日、教職員で初顔合わせが行われました。その直後、「むさまる」が職員室に…。子どもたちが考案しPTAのご協力で生まれたというかわいいキャラクターの登場に、新職員は皆びっくりでした。むさまるには、武蔵野小学校の子どもたちの思いや願いが込められていると聞きます。毎日通いたくなるような楽しい学校づくりに力を注いでいきたいと誓いました。

